

薬剤と

食べ合わせ

NO. 73

飲み合わせ



このストレス社会では薬に頼ることも多くなってきています。しかしそこでちょっと気になる食べ合わせ、飲み合わせの副作用があることはご存知でしょうか？薬が逆効果にならないよう心しておきましょう。

抗血栓剤（ワーファリンカリウム）

と



タマネギ

薬の作用が増大し、脳や消化管などから出血しやすくなったり、出血が止らなくなったりします。

抗血栓剤（ワーファリンカリウム）

と



などのビタミンK



ビタミンKがワーファリンの作用と競合し、薬の効果を低下させ、血栓が出来やすくなります。心筋梗塞や脳梗塞などが再発しやすくなります。

糖尿病治療薬（クロルプロパミド）

と



カレー

薬の血中濃度が上昇し、低血糖を引き起し、頻脈、胃腸障害、発疹などの副作用が出ることがあります。

解熱鎮静剤（アスピリン）

と



コココーラ

コーラの酸度 (PH2.5) が強いので、吸収しにくく、効果が低下します。(その他オロナミンC、ファイブミニなど)

気管支喘息薬（テオフィリン）

と



お茶
コーヒー
(カフェイン)



胃腸障害、イライラ、不眠、頻脈がみられることがあります。

気管支喘息薬（テオフィリン）

と



チョコレート、ココア

喘息治療薬の作用が効きすぎてしまい、発疹やかゆみ、不眠、頭痛、めまい、はきけ、腹痛などの副作用を起こす事があります。

抗生物質（ビサコジル） 便秘に服用される大腸 刺激性下剤

と

牛乳



牛乳で服用すると、大腸までいかず、胃で溶けてしまい、薬の効果が無くなってしまいます。

抗生物質と牛乳は様々な副作用があります。

基抗生物質は、基本的に牛乳で服用しないようにしましょう。(水かぬるま湯で)

心臓の薬 不整脈治療剤（硫酸キニジン）

と

100%
ジュース



アルカリ性の強い食品と一緒に飲むと薬の血中濃度が上昇し、めまいや頭痛などの副作用があります。ひどい時は心停止することもありますので濃厚ジュースとの飲み合わせにご注意ください。

痛風治療薬（アロプリノール）

と

低蛋白食

(タンパク質を多く含む食品
肉、魚、卵、大豆などを制限
した食事を低蛋白食という)

この薬の代謝物の尿中排泄が減少し、高濃度で、体内に蓄積されると、発疹やじんま疹などの副作用が現れることがあります。